

大阪市立大学 専任教員募集要項
〔文学研究院・文学研究科・西洋史分野〕

平成 30 年 4 月 11 日
公立大学法人大阪市立大学
人事委員会

この度、大阪市立大学の専任教員を募集することになりましたので、下記によりご応募いただきますようお願い申し上げます。

公立大学法人大阪市立大学は、平成 31 年 4 月に公立大学法人大阪府立大学と法人統合され、大阪市立大学を運営する新たな法人として公立大学法人大阪が設立される予定です。

また、第 3 期中期目標期間（平成 30 年度～平成 35 年度）中を目途に、大阪市立大学と大阪府立大学との大学統合による新大学の実現を目指して準備を進めています。

職務内容、勤務条件等は変更される可能性がありますので、あらかじめご承知の上でご応募いただきますようお願い申し上げます。

1	募集人員	准教授または講師 1 名
2	所 属	文学研究院・文学研究科・哲学歴史学専攻・西洋史学専修
3	研究分野の 内容	西ヨーロッパ中世史・近世史
4	教育を含む 職務内容 (予定)	・大学院・学部における専門分野の教育及び全学共通教育。 大学院：「西洋史学研究Ⅲ」「西洋史学研究演習 3」など。 学部：「西洋史演習Ⅱ」「西洋史講読Ⅰ」「西洋史講読Ⅱ」「西洋史通論」 「世界史基礎講読」など 全学共通教育：「西洋社会の歴史」など ・大学の地域貢献、国際交流にかかる業務。 ・大学運営にかかる業務。
5	着任予定時期	平成 31 年 4 月 1 日
6	勤務形態	常 勤（ 任期の定め： なし ）
7	給与・手当等	公立大学法人大阪の新制度が適用される予定です。 現行の公立大学法人大阪市立大学の就業規則は下記 URL よりご確認いただけます。 http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/corporation/payroll
8	応募資格	・博士の学位を有する者、またはそれと同等以上の研究業績のある者。 ・西ヨーロッパ中世史・近世史に関する研究において顕著な研究実績を有する者。

		<ul style="list-style-type: none"> ・国際的に評価される研究実績と能力を有し、国際共同研究を推進できる者。 ・大学院・学部における専門分野の教育及び全学共通教育を担当することができる者。 ・教育、研究、地域貢献、国際交流をはじめ大学の職務全般に誠実に取り組める者。 ・大学の管理運営に関する能力と熱意のある者。
9	応募書類	<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書（指定様式） ・研究業績リスト（指定様式。なお、論文については査読の有無を明記すること。主要業績3点を明示すること。） ・主要業績3点（コピー可） ・博士号を有していない者については、博士論文計画書およびその目次（書式自由）。
10	応募締切	平成 30 年 5 月 31 日（木）消印有効
11	選考方法	<p>（1）1次選考（書類選考）</p> <p>（2）2次選考（必要に応じて面接等をおこなう）</p> <p>※ なお、面接等のために要する経費は、応募者の負担とします。</p>
12	書類提出方法	<p>（1）簡易書留で一括郵送のこと。</p> <p>（2）封筒に必ず「文学研究院文学研究科西洋史学専修所属教員応募書類在中」と朱書のこと。</p> <p>（3）提出書類は、原則返却しません。ただし、返却を希望する場合は、必ず返却先を明記した着払用宅配伝票等を同封し、封筒に「返却希望（着払用伝票在中）」と朱書のこと。（伝票及び上記表記のない場合は返却しません。）</p> <p>※ 提出書類に記載された個人情報は、教員採用選考の資料としてのみ利用し、大阪市個人情報保護条例に基づいて適正に取り扱います。</p>
	書類提出先	<p>【杉本】 公立大学法人大阪市立大学 法人運営本部 人事課</p> <p>〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本 3-3-138</p>
13	問合せ先	<p>〔専門分野関係〕</p> <p>公立大学法人大阪市立大学 文学研究院 大学院文学研究科 西洋史学専修</p> <p>担当者：北村 昌史</p> <p>Mail：kitamasa@lit.osaka-cu.ac.jp</p> <p>電話：06-6605-2378</p>

		<p>〔募集全般〕</p> <p>公立大学法人大阪市立大学 法人運営本部 人事課</p> <p>電話：06-6605-2021（ダイヤルイン）</p>
14	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本募集は、公立大学法人大阪が設置する大阪市立大学に勤務する教員として採用する予定のものです。 ・大阪市立大学では、男女共同参画の理念・国際化の理念に基づき、専門分野が合致し、同等の教育・研究業績があると認められる場合には、女性教員や外国人教員の積極的な採用に取り組んでいます。